

# 人工知能研究を発表

## 有明高専の 国際学会で賞受ける 野口さん

大牟田市東萩尾町の有明工業高等専門学校(高橋薫校長)から特命助教の野口卓朗さん(27)が、国際学会「ICAEEME2017」でBest Paper Awardを受賞した。同高専で行われている寄付口座での取り組みを発表したもので、講座での研究を社会に還元したいと考えている。

ICAEEMEは「International Conference on Electrical and Applied Electromechanical Engineering」の略。



国際学会発表で受賞した野口さん

「Engineering」の略。日本とタイの6大学が運営し、毎年タイで開催。野口さんは佐賀市に本社

がある木村情報技術株式会社から寄付を受け、今年4月に始まった寄付口座「人工知能・ビジネス講座」を担当。人工知能の技術的、歴史的な背景を理解して、社会やビジネスにどう生かすか考えられる人材育成のための参加企業との共同研究、学生の研究を担当している。

野口さんは英語による研究内容紹介のポスターを参加者に披露し、質問にも答えた。「社会の人工知能に対する注目度が高まり、華やかな部分が強調されがちですが、地に足が着いた考え、議論のできる人を育てたい」と野口さん。同高専では一昨年と昨年も、学生が同賞を受けている。(高本 明)